

高校歴史総合プリント（過去問類似）  
世界史A（旧課程の過去問） No.4

名前

得点

/10

問1 19世紀前半、ウィーン体制下のヨーロッパにおいて、オスマン帝国の支配下にあった地域で民族独立の動きが活発化した。ヨーロッパの世論、特にロマン主義の知識人たちの強い支持を受け、イギリス・フランス・ロシアの介入を経て、1830年のロンドン会議で正式に独立が承認されたこの戦争は何か。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. スペイン立憲革命      2. イタリア独立戦争      3. イタリア統一戦争      4. ギリシア独立戦争

問2 紀元前3世紀頃にモンゴル高原を統一して強大な国家を築き、秦の始皇帝による長城修築や、前漢の武帝による遠征の契機となった遊牧民族は何か。 (2019年 全国公立入試 類似)

1. 柔然      2. 匈奴      3. 鮮卑      4. 突厥

問3 19世紀末に即位したドイツ皇帝ヴィルヘルム2世が、ビスマルクを引退させて親政を開始した後に推進した、従来のヨーロッパにおける勢力均衡外交から転換し、海軍の拡張や3B政策などを通じて積極的な海外進出を図った帝国主義的な外交政策を何というか。 (2022年 全国公立入試 類似)

1. 門戸開放      2. 大陸政策      3. 南下政策      4. 世界政策

問4 明の滅亡後、中国東北部から興って明の旧都を占領し、そこを自らの都として位置づけて中国全土を支配した王朝は何か。

(2022年 全国公立入試 類似)

1. 明      2. 清      3. 唐      4. 宋

問5 第一次世界大戦において、ドイツやオーストリア＝ハンガリーの陣営に加わって参戦し、ロシアやイギリスなどの協商国側と戦ったが、敗戦後に解体へと向かった、バルカン半島から西アジアにまたがる領域を支配していた国家は何か。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. オスマン帝国      2. オーストリア      3. ブルガリア      4. ドイツ帝国

問6 19世紀半ば、産業革命を経た欧米諸国では通信技術が急速に発展した。1851年に英仏間の海峡に敷設され、その後の帝国主義時代における世界的な情報ネットワーク形成の基盤となった、海を越えて即座に情報を伝達するためのインフラ技術は何か。

(2017年 全国公立入試 類似)

1. モールス電信機      2. 海底電信ケーブル      3. スエズ運河      4. 大陸横断鉄道

問7 2世紀末、インドシナ半島東部のベトナム中南部にオーストロネシア系のチャム人によって建国され、中国の史書において「林邑」や「占城」などと記された、海上交易で栄えたヒンドゥー教主体の国家は何か。 (2020年 全国公立入試 類似)

1. スコータイ      2. チャンパー      3. アンコール      4. ランサーン

問8 中世から近世にかけて東方貿易を通じて繁栄し、イスラーム世界から導入した技術をもとにガラス工芸などの産業を発達させた、アドリア海に面したイタリアの都市国家はどこか。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. ジェノヴァ      2. フィレンツェ      3. アマルフィ      4. ヴェネツィア

問9 1947年のインド・パキスタン分離独立の際、パキスタンはインドを挟んで東西に分かれた領土を持つこととなった。しかし、言語や文化の違い、経済的格差などから東西の対立が深まり、1971年の第三次印パ戦争を経て、東パキスタンが独立を宣言して建国された国はどこか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. スリランカ      2. アフガニスタン      3. バングラデシュ      4. パキスタン

問10 1949年に建国された中華人民共和国と、ソビエト社会主義共和国連邦との間で、1950年に締結された、日本やアメリカ合衆国を仮想敵国とする軍事同盟条約は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 米韓相互防衛条約      2. 中ソ友好同盟相互援助条約      3. 中朝友好協力相互援助条約      4. 太平洋安全保障条約

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 4 ギリシア独立戦争	1821年に始まったギリシア独立戦争は、当初ウィーン体制を維持しようとするメッテルニヒらによって静観されたが、ヨーロッパ各地でロマン主義を背景とする支援運動が高まった。ロシア、イギリス、フランスがそれぞれの思惑から介入し、1827年のナヴァリノの海戦などでオスマン帝国軍を破った。その後、1830年のロンドン会議においてギリシアの独立が国際的に承認され、ウィーン体制の動揺を示す象徴的な出来事となった。
問2	答え 2 匈奴	モンゴル高原を統一したこの遊牧民族は、秦や漢の時代に中国王朝にとって最大の脅威となった。秦の始皇帝は蒙恬を派遣してこれを退け、万里の長城を修築した。また、前漢の武帝は衛青や霍去病を派遣して大遠征を行った。元代（13～14世紀）にこの民族を破ったとする記述は、時代が大きく異なるため誤りである。
問3	答え 4 世界政策	ドイツ皇帝ヴィルヘルム2世は、ビスマルク辞職後に親政を開始し、従来の協調外交から転換して、積極的な帝国主義的海外進出を目指す外交方針をとった。この方針は、イギリスの3C政策に対抗する3B政策の推進や、海軍の大規模な拡張などを伴い、列強間の対立を激化させて第一次世界大戦の背景となった。
問4	答え 2 清	中国東北部（満洲）でヌルハチが建国した金（後金）は、ホンタイジの代に国号を改めた。明が李自成の乱によって滅亡すると、この王朝は山海関を越えて中原に進入し、旧明の都を自らの都と定めて中国支配を本格化させた。
問5	答え 1 オスマン帝国	第一次世界大戦が勃発すると、この国家はドイツとの密約に基づき、同盟国側に立って参戦した。イギリスやロシアと交戦したが、最終的に敗北し、戦後のムスタファ・ケマルによる革命を経て滅亡へと向かうこととなった。
問6	答え 2 海底電信ケーブル	19世紀半ばの1851年、イギリスとフランスの間に世界で初めて敷設された。この技術の登場により、国家間の情報伝達速度は飛躍的に向上し、植民地支配の維持や国際金融市場の形成において極めて重要な役割を果たすこととなった。
問7	答え 2 チャンパー	2世紀末にベトナム中南部にチャム人によって建国されたこの国家は、海上交易の要衝に位置し、インド文化の影響を強く受けてヒンドゥー教を信仰した。中国の史書では時代によって「林邑」「環王」「占城」などと称され、宋代に中国へもたらされた占城稻（早稲の品種）の由来としても知られる。
問8	答え 4 ヴェネツィア	アドリア海に面したこの都市国家は、東方貿易の中心的拠点としてイスラーム世界と深く結びつき、ガラス製品やその原料、エナメル彩装飾などの高度な技術を導入した。これにより、15世紀にはガラス製作の先進地域として発展を遂げ、独自の産業基盤を確立した。
問9	答え 3 バングラデシュ	1947年の分離独立時、イスラーム教徒が多数を占める地域がパキスタンとして独立したが、西パキスタン（現パキスタン）と東パキスタンは地理的に大きく離れており、言語（ウルドゥー語とベンガル語）や文化、政治・経済的な格差から不満が高まった。1971年に東パキスタンで独立運動が本格化すると、インドがこれを支援して第三次印パ戦争が勃発し、最終的に東パキスタンはバングラデシュとして独立を達成した。
問10	答え 2 中ソ友好同盟相互援助条約	中華人民共和国の建国直後の1950年2月、モスクワにおいて調印された二国間の軍事同盟である。この条約は、日本または日本と同盟関係にある国（実質的にはアメリカ合衆国）による侵略を防止することを目的としており、東アジアにおける冷戦構造を固定化させる要因となった。選択肢の候補となるロカルノ条約、スターリング=ブロック、ロンドン軍縮会議はいずれも第二次世界大戦前の出来事であるため、1950年という年代からも判別できる。